

◆CONTENTS◆

HOPE-沖縄・平和キャンプ...1

前期キリスト教週間 ...2

学生企画礼拝・英語礼拝...3

クリスマス聖歌隊参加者募集のお知らせ ...4

宗教部 ニュースレター



HOPE-沖縄平和キャンプ 8月12~13日 伊江島・普天間・辺野古



従来の「聖書サマーキャンプ」は名称を「HOPE-沖縄・平和キャンプ」と改め、学生8名、教職員3名、計11名、1泊2日の日程で行いました。開会礼拝後、金永秀宗教部長による講演では、「日本の平和と沖縄の犠牲」— 琉球処分から始まる日本の富国強兵策と侵略の歴史、太平洋戦争へ至る世界の情勢などを話されました。嘉数高台では、普天間基地を見ながら、「沖縄キリスト教センター」館長の又吉京子氏から普天間基地が置かれた歴史や女性たちによる基地返還抗議行動について説明を受けました。午後、伊江島へ渡り、「ヌチドゥタカラの家」館長の謝花悦子氏から阿波根昌鴻氏や伊江島の農民の非暴力による土地闘争と平和活動についてお話を伺い、その熱い思いをそれぞれが受け止めました。その後は、ビーチでBBQとスイカ割、花火、と伊江島の海を満喫しました。宿泊の「土の宿」の沼田さんや玉城さんとも交流でき、2日目は金城盛和氏のガイドで戦跡を見学しました。午後、沖縄島に戻り、護岸建設が始まっている辺野古の「松田又浜」で、山本英夫氏から辺野古基地建設の歴史と反対運動の思いを学び、学院に戻りました。感想のシェアリングは後日持ち越しとなりましたが、寝食を共にした研修で親睦を深めながら、沖縄戦を経て現在の基地問題と新基地建設につながる流れを学ぶことができました。



嘉数高台（普天間）で



「ヌチドゥタカラの家」館内の展示物を見る



館長の謝花悦子さんと



伊江島の団結道場で



このガジュマルの木の
下で
二人の兵隊が暮らした



強制集団死のあったアハシャガマ



辺野古の浜で話を伺う

2019年度 前期キリスト教週間

4月22日～26日

22日 Mon.(月)

23日 Tue.(火)

月曜礼拝 「知恵は金銭にまさる」



金井 創 牧師
日本基督教団佐敷教会牧師
沖縄キリスト教平和総合研究所
コーディネーター

初日の月曜礼拝では、金井 創 牧師にメッセージを語っていただきました。「みなさんは、大好きな沖縄の事をどれだけ知っていますか？いろいろな人の話を聞いたり、本をたくさん読んで知識を得、洞察力、想像力を加えることで身につくのが知恵です。大学はいかに自発的に学ぶかが問われています。さまざまな学びを得る機会を活用して、知恵に到達する学びを見つけて欲しい」と説かれました。

新入生・教職員歓迎ランチ会



キリスト教担当の野間光顕先生の焼く、ベビカステラの甘い匂いに誘われて、多くの学生・教職員が参加。自己紹介の後、持参のお弁当、差し入れのごちそうもあり、楽しく歓談・交流の時を過ごしました。

25日 Thu.(木)

キリスト教講演会

「ロヒンギャ難民キャンプでの活動報告」



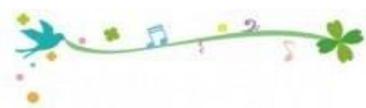
現地で医療支援を行った救急医、ヴァイオリニストの林 峰栄氏をお迎えし、活動の様子を映像で見ながら報告してくださいました。「迫害から逃れるためにミャンマーからバングラデシュに逃れてきたロヒンギャ難民の数は80万人と言われており、この大きな国際問題にみんなが関心を持たなければいけません。」と熱く語られました。

26日 Fri.(金)

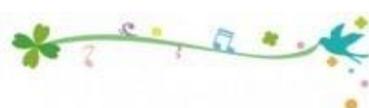
映画上映会



キリスト教週間最終日は、映画「イノセントボイス」を鑑賞しました。1980年代のエルサルバドルで、政府軍と反政府ゲリラ組織との内戦に巻き込まれていく子どもたちの姿を追った作品です。人文学部の学生30数名が参加しました。極限の状況下での主人公の少年の勇気ある「殺さない」という決断に感動の声が聴かれました。



学生企画礼拝



6月17日「はじめての礼拝～礼拝の意味を学ぶ～」

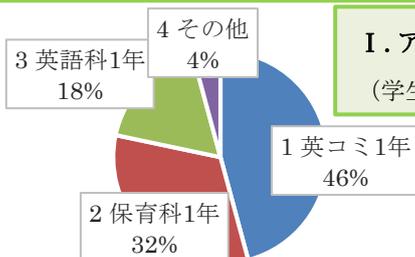
礼拝には、聖書のことば、メッセージ、祈りや賛美などがあります。下記のアンケートを基に、昨年に引き続き、礼拝の意味や目的について、項目ごとに学生宗教委員（HOPE）が説明しながら進めました。



賛美は「私たちのこの口は」と「God bless you」の2曲をHOPEのリードで歌い、動画『ブリッジー知られざる愛の物語』をメッセージといたしました。

月曜礼拝についてのアンケート（2019年5月27日実施）

II. 5/27の月曜礼拝に出席した学生の内訳



I. アンケート総数 137
(学生 120、教職員 17)

III. 礼拝出席回数/月

①毎週 70%、②2～3回 20%、③1回～時々 9%

IV. 教会の礼拝に参加

①ない 79%、②ある 19%、③無記入 2%

V. 月曜礼拝の印象

①良かった 51%、②とても良かった 30%、
③まあまあ 15%、④無記入 4%

アンケートの結果、礼拝出席者は学生の96%が1年次だということで、月曜礼拝への学生の認識は、キリスト教系の授業の一環としての礼拝という位置づけになるかと思われます（レポートを課している）。

礼拝に関しての印象は、出席者の80%程の方が良いと感じており、どういうところが良かったのか、具体的に記述されていました。「説教を聴くことで、自分の知らない事、新しい事を学べる。」「聖書やキリストについて学べる」「沖縄戦についての学びができる」また、「週の初めの朝の礼拝は心が落ち着く」「心が豊かになり、自分が成長する。」「讃美歌を歌ったり、奏楽を聴いたり、賛美に関心がある。」一方で、まあまあと答えた方は、「話の内容が難しい」「ためになっているのか分からない。」という感想もありました。月曜礼拝に対しての質問やご意見等も寄せられていますので、今後の参考にさせていただきたいと思えます。ご協力ありがとうございました。

英語礼拝 *English Worship Service*

前期の英語礼拝は、Michael Bradley 先生（英語科教授） “Christianity In My Country.” 「私の国のキリスト教」という題でメッセージをして頂き、「同時通訳」受講生が通訳を行いました。メッセージの中で、Bradley 先生は、母国アイルランドの紛争の話や、「北アイルランドとイギリスの関係、カトリックとプロテスタントの対立などを見ていく時に、『あなたの隣人をあなた自身のように愛しなさい』という聖書のことばの意味を考え、理解することが大切だ。」と説かれました。

学院クリスマス礼拝 聖歌隊募集



後期に行われるツリー点灯式やクリスマス礼拝で
キャロルを歌ってくださる聖歌隊を募集いたします。
キリ学・キリ短の学生時代にしかできない経験です！
教職員の参加も大歓迎です。
皆さまのご参加を心よりお待ちしております♪



♪ 募集要項 ♪

募集人数：30名（募集締切：10月21日）

練習期間：10月10日（木）～12月19日（木）

※オリエンテーション：10月9日（水）12：20

場所：仲里朝章記念チャペル

ツリー点灯式：12月2日（月）月曜礼拝内

クリスマス礼拝：12月20日（金）18：00

学生宗教委員会（HOPE）

コイノニアサークル

随時
メンバー募集中！

讃美歌や聖書、キリスト教に触れてみませんか？

随時メンバーを募集しています！

★集まる日：月曜日のランチタイム

木曜日の5時限目（コイノニア）

★場 所：HOPEの部屋（チャペル入って右側）



～編集後記～

宗教部の主な活動について、紙面にて紹介させていただきました。
沖縄キリスト教学院の facebook ページや学報でさらに詳しく、
ここで紹介出来なかった活動も掲載されています。

ぜひご覧になり、「いいね！」とともに応援をお願い致します！

facebook ページ

<http://www.facebook.com/OCU.OCJC>

宗教部ニューズレター 第13号

2019年9月発行

発行 沖縄キリスト教学院 宗教部

沖縄県中頭郡西原町翁長 777 番地

TEL：098-946-4152

UR：<http://www.ocjc.ac.jp/index.html>

Email：shukyobu@ocjc.ac.jp